

男子1年100メートルなどで新記録

習志野市中学校陸上競技大会

第56回習志野市市民総合体育大会・陸上競技の部兼第41回習志野市中学校陸上競技大会が9月4日、船橋市運動公園陸上競技場で開かれた。

暑さはあったものの、風の影響は少なく、良好なコンディションのレースとなった。中学男子1年100メートルで四中の小寺慎之助選手が11秒98の大会新記録をマークした。また、中学男子共通1500メートルで、一中の金内貫汰選手、瀧村航平選手が、35回大会で七中の久保園達選手が達成した記録を破り、新記録を樹立した。

- 市内中学生の上位3位までの大会結果は次の通り。一中から七中までは漢数字、東邦中は東と表記。
- 男子100メートル**
 ①小寺慎之助(四) 11秒98
 ②深野匠馬(五) 12秒59
 ③徳川翔梧(一) 12秒87
- ▽2年100メートル
 ①寺田怜生(四) 11秒98
 ②千坂翔馬(二) 12秒05
 ③山崎良輔(三) 12秒17
- ▽共通2000メートル
 ①寺田怜生(四) 24秒66
 ②千坂翔馬(二) 25秒07
 ③千葉蒼真(東) 25秒22



男子1年100メートル

- ▽共通4000メートル
 ①山崎良輔(三) 57秒39
 ②土岐光喜(一) 59秒28
 ③中野一真(六) 59秒38
- ▽共通8000メートル
 ①竹内徠(四) 2分12秒50
 ②金内貫汰(一) 2分12秒50
 ③古屋陽輝(六) 2分14秒54
- ▽共通3000メートル
 ①近藤駿介(六) 10分40秒
 ②谷中優作(四) 10分59秒81
 ③有村奏飛(四) 11分00秒44

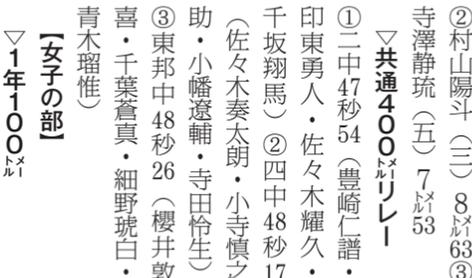
男子共通3000メートル



男子共通3000メートル

- ①多田光希(六) 1.50
 ②土岐光喜(一) 1.70
 ③鎌田圭允(三) 1.80
 ④本周哉(六) 1.90
- ▽共通走高跳
 ①多田光希(六) 1.50
 ②土岐光喜(一) 1.70
 ③鎌田圭允(三) 1.80
 ④本周哉(六) 1.90

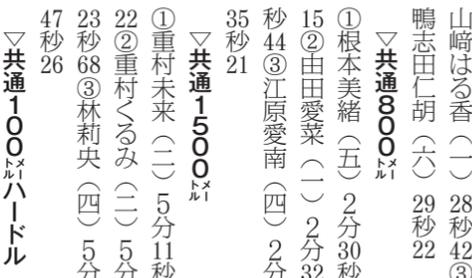
女子1年100メートル



女子1年100メートル

- ①金内貫汰(一) 4分34秒09
 ②瀧村航平(二) 4分35秒22
 ③伊東勇人(二) 4分44秒54
- ▽共通砲丸投
 ①積田凜太郎(一) 8.96
 ②村山陽斗(三) 8.63
 ③寺澤静琉(五) 7.53

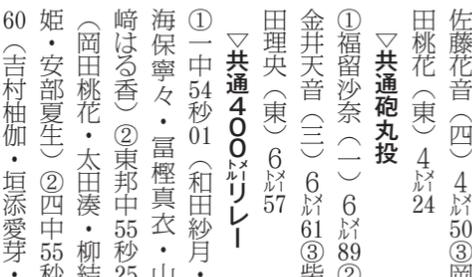
女子共通1500メートル



女子共通1500メートル

- ①泉内貫汰(一) 5.10
 ②本音丸(六) 5.10
- ▽共通砲丸投
 ①積田凜太郎(一) 8.96
 ②村山陽斗(三) 8.63
 ③寺澤静琉(五) 7.53

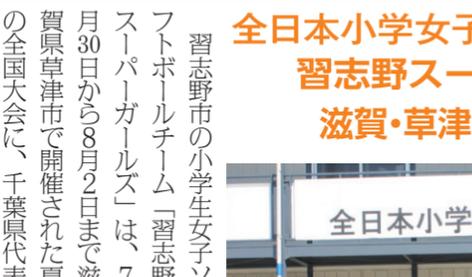
女子共通2000メートル



女子共通2000メートル

- ①根本美緒(五) 2分30秒15
 ②由田愛菜(一) 2分32秒44
 ③江原愛南(四) 2分35秒21
- ▽共通1500メートル
 ①重村未来(二) 5分11秒22
 ②重村くるみ(二) 5分23秒68
 ③林莉央(四) 5分47秒26

女子共通4000メートル



女子共通4000メートル

- ①一中54秒01(和田紗月・海保寧々・富樫真衣・山崎はる香)
 ②東邦中55秒25(岡田桃花・太田湊・柳結姫・安部夏生)
 ③四中55秒60(吉村柚伽・垣添愛芽・佐藤花音・伴悠羽)

五中が団体・個人制覇

中学ソフトテニス新人戦

令和4年度習志野市中学校新人体育大会・ソフトテニスの部が9月3日と4日、秋津テニスコートで開かれた。

団体戦は男子、女子とも男子五中の多賀谷亮佑キヤブテンは「みんなが一丸」と語り、



男子団体戦優勝の五中(写真上)、女子団体戦優勝の五中(写真下)(写真提供:第五中学校ソフトテニス部)



に五中が優勝を果たした。個人戦でも男子は多賀谷・鳩組、女子は立本・早見組の五中ペアが栄冠を手にした。

男子五中の多賀谷亮佑キヤブテンは「みんなが一丸」と語り、

となり、力を合わせたことで優勝できたと思います。試合でわかった自分の課題を改善し、県大会では個人、団体ともにベスト4を目標に勝ち進み、周りの人から応援される部活にしたい」と語り、

女子五中の桑原桃子キヤブテンは「先輩たちが引退し、新チームになって市内で初めての大会でしたが、優勝できてとてもうれいす。優勝できたのは、みんなが最後まで諦めずに戦い続けたからだと思ひます。そして、最後まで応援し続けてくれたチームメイトと保護者のお蔭もあり、みんなで取れた優勝だと思ひます。次の大会に向けてがんばりたいです」と話した。

大会結果は次の通り。

男子団体
 準決勝
 ①五中 2-1 四中
 ②五中 2-1 三中
 ③五中 2-1 二中
 ④五中 2-1 一中

決勝
 ①五中 2-1 四中
 ②五中 2-1 三中
 ③五中 2-1 二中
 ④五中 2-1 一中

女子個人
 ①立本美羽菜・早見怜音(五中)
 ②池亀菜里・本田梨南子(四中)
 ③宮下紗良・長谷川紗良(六中)
 ④原真衣・細井葵羽(七中)

男子個人
 ①多賀谷亮佑・鳩瑛翔(五中)
 ②横田航平・鷺谷将太(五中)
 ③織戸亮輔・小長井将吾(一中)
 ④細野希・佐藤克海(五中)

女子個人

男子個人

準決勝

決勝

女子個人

男子個人

準決勝

決勝

女子個人

親子でポッチャ

ニユースポーツフェス

習志野市スポーツ奨励大会「第7回ニユースポーツフェスティバル」が7月3日、袖ヶ浦体育館ほかで開かれた。

ニユースポーツは初めて



ポッチャの体験

の人も手軽に楽しめる、新しく考案されたり、日本に紹介されたスポーツ。フェスティバルは、習志野市スポーツ推進委員連絡協議会と習志野市教育委員会がニユースポーツに触れて楽しんでもらおうと催している。

体育館では輪投げ、ドッジボールの代わりに柔らかいフライングディスクを使う「ドッジビー」、ポールの近くに投げられるかを競う「ポッチャ」、屋外ではグラウンドゴルフが行われ、大勢の親子が参加し盛況だった。小学生はドッジビー、大人はグラウンドゴルフが人気だった。

初めてポッチャのボールに触ったという女性は「思ったようにボールが届きませんでした。慣れにくい感じが近づくようになりました」と話していた。

開会式での入場行進

開会式での入場行進

開会式での入場行進

開会式での入場行進

全日本小学女子ソフトボール大会 習志野スーパーガールズ 滋賀・草津市の大会出場



全国大会出場の習志野スーパーガールズ

習志野市の小学生女子ソフトボールチーム「習志野スーパーガールズ」は、7月30日から8月2日まで滋賀県草津市で開催された夏の全国大会に、千葉県代表として、5年ぶり3回目の出場を果たした。

第36回全日本小学生女子ソフトボール大会は、全国各地から47チームが参加し、草津グリーンスタジアムで開会式が催された。

習志野スーパーガールズは、1回戦はシードとなり31日、1回戦を勝ち上がった昨年の優勝チームで静岡県代表、掛川桔梗女子ソフトとの2回戦に臨んだ。厳しい暑さで、体調管理とコンディションづくりが求められた。試合前日は、地元草津レインボーガーズと交流試合を行うなど、選手たちはひたむきに努力を重ね、大会においても、千葉県に「習志野あり」と示すことができた。感染症の急激な拡大で、開催が危ぶまれたが、各地の選手との交流など、ソフトボールを通じて様々な体験をした。

また、試合前日には、地元草津レインボーガーズと交流試合を行うなど、選手たちはひたむきに努力を重ね、大会においても、千葉県に「習志野あり」と示すことができた。感染症の急激な拡大で、開催が危ぶまれたが、各地の選手との交流など、ソフトボールを通じて様々な体験をした。

野村慎一監督は「全国大会出場に際し、新ユニフォームを贈呈いただくなど、物心両面にわたり、多くの方々のご支援をいただきました。今後、みなさんの応援をよろしく願ひたいします」と述べた。

(資料・写真提供:習志野市ソフトボール協会)